



結進仕  
団躍奉

# 鹿児島けんちく

発行所

鹿児島県建築協会

鹿児島市城山町2-13

電話 099-224-5220 FAX 099-227-5479

E-mail ken36823@ruby.ocn.ne.jp

http://www.kagoken.net/

中小企業人材確保推進事業



出水市に飛来する鶴(出水市)

©K.P.T.F

## 諸施策に適切に対応し 厳しい環境を克服

(社)鹿児島県建築協会 会長 上山 吉



会員の皆様にはご家族お揃いで平成十九年の新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。本年もなお一層のご支援ご鞭撻をよろしくお願い致します。

国の景気は昨年十一月「いざなぎ景気」を抜き戦後最長になったと表明されました。

建設業にとって依然として厳しい時代が続いていますが、国や地方自治体において公共工事が長期にわたって削減され、地域の社会資本整備を担っている地方の中小建設業者は危機的な状況に追い込まれております。全中建設では優良な中小建設業者が生き残り、地域に根ざした地場産業としてその役割を果たしていくことが出来るよう窮状打開に努めてまいります。

行による官製談合や耐震偽装事件、また地方自治体における不祥事などが大きな社会問題になり国民に大きな安心面を確保する対策として建設関連においても法の改正や制度の見直しが行われています。

また、新設生産システムとして建設生産システムの改革を推進するための具体的方向性が大きく三つに示されました。①法令遵守、各主体間の対等な関係の構築、②技術者、技能者による適正な施工の確保に力を入れる、契約制度の改革を強力に推進することであり、

県においても入札、契約制度で総合評価方式を導入され、また電子入札、電子納品の導入も今年度より試行し、二十年以降拡大される一般競争入札も今年度から一億円以上に引き上げられることが発表されました。

協会としては、これからの施策に適切に対応しながら地元業者が受注できる条件を要望してまいります。

新しい年を迎え、協会役員が更に結束し、建設業関係法令の遵守はもとより経営基盤の強化を図り、技術力の向上や現場における労働災害防止に努め、社会に貢献し、社会に信頼される建設業を目指してこの厳しい環境を乗り越えていかなければならないと思っております。

終わりに会員皆様のご多幸ご活躍をこの新年申し上げます。伊藤 祐二朗

## 三つの挑戦

「力みなぎる・かごしま」の実現に向けて

鹿児島県知事 伊藤 祐二朗



平成十九年の新春を迎え、謹んで新年のお慶びを申し上げます。

社団法人鹿児島県建築協会におかれましては、日ごろから建築工事の適正な施行の確保と、本県建築業の健全な発展のために御尽力いただいておりますことに対し、深く敬意を表します。

さて、昨年は、記録的な豪雨や台風などにより、全国で大規模な自然災害が発生いたしました。本県におきましても、七月の県北部

豪雨災害では、記録的な豪雨により、五名の方が亡くなられたほか、県内各地で家屋の浸水被害をはじめ農作物や河川・道路等に大きな被害を受けました。

このような中、貴協会におかれましては、ボランティア活動など被災地の普及に向けた様々な取組を積極的に行われ、被災地の早期復旧に、大きく貢献されました。改めて心から感謝を申し上げます。

皆様には、今後とも、被害に強い建物づくりをはじめ、「安心・安全」かつ、健全な建物づくり、まっすぐりに御尽力いただきますようお願い申し上げます。

私としましては、本県が置かれている厳しい状況を踏まえ、「持続可能性への

## 創ろう未来 躍動する 元気都市・かごしま

鹿児島市長 森 博幸



輝かしい新春を迎え、謹んでお慶び申し上げます。

市政に対する日頃からの温かいご理解ご協力に対し、深く感謝申し上げます。また、鹿児島市長に就任して三年目を迎えました。この間、市政が順調に進展しておりますことに、厚く御礼申し上げます。

昨年の市政を振り返りますと、「市長とふれあいトータル」等の開催に加え、新たに「市民とつくる協働のまち事業」を実施し、市民の皆様と共に考え、共に行動する市政のさらなる推進に努めてまいりました。

また、観光未来戦略に基づく各種観光振興策に取り組みとともに、特産品の県外市場での積極的なPR等を推進しました。

さらに、学校校庭の芝生化や民間建築物の屋上緑化等への支援、地域の防災、防災活動等のリーダー育成や安心ネットワーク一九の運用開始を行うとともに、児童クラブの整備や地域子育て支援センターの増設などにも取り組まれました。

新年においても、厳しい財政環境のもと、引き続き施策の機軸を徹底し健全財政を堅持する中で、これまで展開してきた施策をさらに充実させていかなければならないと考えています。

さて、九州新幹線の全線開業までいよいよ四年余りとなりましたが、部分開業



時よりもさらに広い範囲において、観光、経済、文化など各面での交流が活発になることが予想されます。こうした追い風をしっかりとつかみ、本市の発展につなげるため、本市の地域資源や特性を最大限に生かした観光振興への取り組みを加速してまいります。

また、本市発展の核となる中心市街地の活性化を図るため、新たな計画を策定し、さらなる都市機能の充実や暮らしやすく、にぎわいあふれるまちづくりを進めてまいります。

年頭にあたり、私はこれから市民の皆様との対話、パートナーシップを大切にしたい。「市民が主役の鹿児島市の実現」を基本理念に、「熱い、明るい、あつたかい鹿児島」づくりに全力を傾注し、市民の皆様のご知恵と力を結集した「未来に躍動する元気都市・かごしま」を創造してまいります。

本年も市政の推進に、より一層のご理解ご協力を賜りますようお願いいたします。同時に、新しい年が皆様にとりまして素晴らしい年でありませう、心からお祈り申し上げます。新年のごあいさつといたします。



### 年頭所感



社団法人全国中小建設業協会会長 岡本 弘

平成十九年の年頭にあたり、改めて挨拶を申し上げます。我が国経済は、企業収益の改善や需要の増加等を受けて設備投資が増加し、個人消費も緩やかに増加するなど、景気は回復基調にある中において、建設業界は目を見張るような伸びを見せています。公共事業費は毎年削減され、平成十九年度のピーク時に八十四兆円だったのが、

追加は困難な状況にあります。また、新年度の予算においても、政府の削減目標がほぼ達成されたことから期待を寄せられてきたが、残念ながら、経済財政諮問会議の決定を受け、公共事業は引き続き削減される方針であります。如何に財政事情が厳しい状況下にあるとはいえ、このままではさらに中小建設業者の犠牲が増え続け、不測の事態が一層増大するのではないかと、大きな危惧を抱いております。

国に對しましては、中小小向けの公共事業予算の確保や官公需法による中小向けの契約比率を高めていただくよう努力を続けております。また、三位一体改革の名の下に、国庫補助事業や地方単独事業の推進が阻まれることのないよう、地方自治体の財源確保のための施策を強く訴えているところであります。

その中で、官公需法に關しましては、私どもの努力が報われ、毎年、過去最高の契約目標率で開議決定されていくところであり、しかし、生産者側の更なる指導強化を要望して参りたいと思っております。

また、今回の経済見直しにあたっては、私どもが訴えて参りました団体加入企業に對するメリットの付与について、「防犯に資する建設業者への加算」という形で新たに評価項目に盛り込まれることになりましたが、今後とも建設業界の健全な発展を期すべく、引き続き努力して参ります。

住宅行政につきましては、今年二月末までに策定することとされている居住生活基盤計画に基づき、とりとちうのおいのある住まいの実現を目指すと、住宅に關する各般の施策を展開してまいりたいと考えております。

ところで、国民を驚かせ、建築業界の信用を失墜させた前福岡県庁舎事件は、発覚後一年が経過し、ようやく落ち着いた感があります。しかし、会員の皆様方におかれましては、一日も早い信頼回復のため、引き続き奮闘して参ります。最後に、貴協会の今後ますますの御発展を祈念いたしまして、新年の挨拶とさせていただきます。

### 発展の年



鹿児島県土木部長 真下 和彦

平成十九年の年頭に当たり、謹んで新春のお慶びを申し上げます。社団法人鹿児島県建築協会の皆様方におかれましては、新たな年を迎え、さらなる飛躍・発展の決意に燃えていらっしゃるものと存じます。さて、地方分権の進展に伴って激化する地域間競争に勝ち抜いていくためには、県民の安全・安心な生活を確保し、「力みなぎるかこしま」を構築する必要があると、このため県におきましては、「県土をつ

公共事業を取り巻く環境が厳しい状況の中で、地域にとつて真に必要な施設整備を着実に進めるためには、県民の皆様への御支援・御協力はもとより、社会資本整備の担い手であり、地域に根ざしていらっしゃる皆様方の御支援が不可欠であります。今後とも、建築行政の推進に關し、一層の御協力をお願いいたしますとともに、新しい年が皆様方にとりまして希望に満ちた、大いなる発展の年になりますことを心より祈念いたしまして、新年のご挨拶といたします。



鹿児島県土木部建築技監 北 真夫

新年、明けましておめでとうございます。皆様方におかれましては、平成十九年の新春を健やかに迎え、心から感謝申し上げます。また、本県の建築・住宅行政の推進につきましては、かねてから多大なる御支援・御協力をいただき、心から感謝申し上げます。さて、世の中は景気の充足感や価値観の多様化が進む中で、確実に成熟社会への移行を続けており、建築物の整備はもとより、環境共生、

### 新年を迎えて



鹿児島県土木部建築技監 北 真夫

循環型社会の実現などの社会的要請に応えながら、日々の追求がなされる快適さへの追求がなされております。このような中、県有施設の整備につきましては、皆様方の御協力を得まして、今年、鹿児島県庁舎待合所、鹿児島県立総合体育館等、完成をみますとともに、平成十九年度は、重実図書館、鹿児島工業高校体育館等に着手することとしております。県営住宅につきましては、第一団地や松島台団地の建設を進めるとともに、平成十九年度は、最大規模団地である原良団地の建設事業に着手することとしております。今後とも、安全性や環境負荷の低減などに配慮して、快適な空間の創出に努めてまいりたいと考えております。建築行政につきましては、

### 未来に躍動する



鹿児島市建設局長 山中 敏隆

平成十九年のすがすがしい新春を迎えられ、心からお慶び申し上げます。さて、国内の景気拡大は戦後最長を更新しておりますが、地方部では景気回復を実感するまでに至っていないところであり、厳しい財政環境のもと、将来にわたって持続的に発展し得る道実な

は一連の談合問題等を含め、度重なる不祥事が発生し、国民の公共事業への不信感も深くなっています。建設業界として社会的責任を果たすためには、一日の猶予もなく信頼回復を急ぐ必要があります。私どもは状況を正確に把握して適切

な対応を図りながら、一致団結してこの苦境を乗り越えなければなりません。全国の中小建設業者の皆様におかれましては、今後とも私どもも全連に對する一層のご支援・協力を賜りますようお願い申し上げます。また、都市マスタープランの見直しや昨年着工した高層ビル等の幹線道路網の整備により、都市機能の充実を図るとともに、低地区の浸水に對する統合治水対策、市道等のバリアフリー化、並びに区画整理事業を推進し、安全で人にやさしいまちづくりを進めてまいります。

### 平成十九年 新春建築四団体合同賀詞交歓会



新春の門出にふさわしい盛大な催しとなっている「新春建築四団体合同賀詞交歓会」が一月四日、鹿児島サロイヤルホテルに於いて開催され、来賓をはじめ四団体の会員らが多数出席し、わがたの交歓会では、初めに担当の電設協会の山ノ内会長が挨拶をし、来賓祝辞、来賓や各団体がハッピーを添えて祝賀の言葉を述べました。来賓担当の空調衛生工事業者協会の福留会長が乾杯の言葉を述べた後、参加者はしばし歓談し、御かしい雰囲気となりました。



### 支部だより

#### 良質で安全・安心な公共事業の推進を

曾支部長 川畑 勇三



明けましておめでとうございませう。

平成十九年の輝かしい新年を会員皆様方と新たに迎えることを、心からお慶び申し上げます。

さて、昨年は県内各地で相次ぐ大雨や台風などによる多くの災害が発生し、県民の尊い命と財産が犠牲となりました。本県はシラス土壌や急傾斜地が多く、他県と比べても風水害が発生しやすい特性を持っており、さらに地球温暖化などの影響で過去の気象観測から想定できない災害が発生するなどの、その対策が急がれております。

我々会員は県民の財産を守る使命を担いながら、国

や地方公共団体の厳しい財政事情により公共事業のコストが削減されていくなかにあつても、公共施設の建設、維持管理と防災・環境保全事業を推進し、また、研修会等を開催し技術の研鑽に努め、良質で安全・安心な公共建築物を提供する努力をす

#### 新春を迎えて

北薩支部長 野元 善文



新年明けましておめでと

うございませう。会員の皆様におかれましては、すがすがしい新年をお迎えのことと存じます。

会員の皆様方には、日頃からご支援、ご指導を賜り深く感謝申し上げます。ご存知のように、北薩支部では昨年七月に北部豪雨災害にあい、支部会員の皆様におかれましては、猛暑の中でのボランティア活動にご協力いただき誠に有難うございました。また、建築業をとりまく環境は、厳しい年がつづいております。こうい

#### 鹿屋のいぶき

鹿屋支部長 小林 正義



新年明けましておめでと

うございませう。旧年中は色々有難うございました。

旧年(去年)は、鹿屋支部はすこい改革の年でござい

ました。その内、一番の特筆すべき事は、(一)鹿屋建設会の内、十社おろして鹿屋建設協会の会員として入会をさせていただき、

研究会にとりましては四〇余年の念願がかない全員で同じ釜の飯を喰うという事になり皆様の協力と友情に感謝した次第です。世の中いろいろなメディア等であり、いろいろ好景気を伝えますが、我々にとりましては実感無き好景気で非常に厳しい状況が続いておりますが、この難局を支部会員一致協力し、団結をもって乗り切らねばと決意しております。

う時こそ、互いに会員全体で協力すべきではないでしょうか。こうした事から、会員の信頼関係、協会員拡大につながるのではないのでしょうか。

また、北薩支部としましては、今後も地域の方々に建築協会のいろいろな活動や行事を通じてPRしていきたいと思っております。

最後に、今年も会員皆様方のご協力とご指導をお願い申し上げますとともに、会員皆様方のご発展とすばらしい一年でありますように心からお祈り申し上げます。

#### 南薩支部から

南薩支部長 大坪 祥浩



新年明けましておめでと

うございませう。会員皆様方におかれましては、輝かしい新年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

平成十四年五月に南薩支部長を任命され、五年になりました。その間、協会本部並びに会員皆様方のご支援、ご指導をいただき、心より感謝申し上げます。五年目の

#### 第42回ゴルフ大会

成績は次のとおりです。

- 昨年、十月十二日秋空のもと第四十二回ゴルフ大会が日置市の南九州カントリークラブ伊集院コースにて開催され、四六名が参加し親睦を深めました。
- 全員ダブルベリア方式の三〇打ち切りで熱戦を繰り広げた結果、個人戦では内門一郎氏(内門工務店)が優勝し、団体戦においては、四六名を九チームに分け各チームの上位四名の成績で争い、始良伊佐チームが優勝しました。
- 成績は次のとおりです。
- (個人戦) 優勝 内門一郎 (内門工務店) 準優勝 小牧 隆 (小牧建設) 三位 増森茂隆 (増森建設) ベスト 内門一郎 (内門工務店) グロス賞 川上建一郎 (川上建設) ドリフ賞 川上建一郎 (川上建設) (末重建設)
- (団体戦) 優勝 始良伊佐チーム (鎌田建設、末重建設、内門建設、内門建設、内門建設、内門建設) 準優勝 鹿児島南チーム (九州建設工業、川山建設、川山建設、川山建設、川山建設) 三位 川上建設 (川上建設、川上建設、川上建設、川上建設)

#### 奄美支部から

奄美支部長 伊藤 俊一



選んで新年の御挨拶を申

上げます。

奄美支部の事業も、八月六日の奄美祭二協賛(花火大会への寄付)、八月十日遺の日の清掃協力、九月七日の本部事務委による安全パトロール参加、十月十三日の大島支庁連反建業パトロールへの参加、十月十二日の

#### 釣りとお料理 第四部

始良・伊佐支部長 南 明人



十一月初旬、エンジン不調

で鹿児島市内のボルト専門

店に修理に出してあった船

が、一ヶ月ぶりに整備を終え

てきたので久しぶりに海に

出ることになった。友人のH君

と弟の四人で海に出た。天気

は、しばらくすると弟の竿

が大きくしなった。巻き上げ

の音を見ているとどうも鯛

ではなさそうだった。ときし

てから水面に現れたのはと

つともなく大きなアラカブ

だった。一キログラムは優に

超える大きさだ。それを見た

みんなが俄然元気づく。なん

とその日はアラカブデーで、

超大型アラカブ二キロ前後

が三匹、大型アラカブ(五百

〜八百グラム)十四匹、中型ア

ラカブ(二百〜五百グラム)十

二匹、小型アラカブ(百〜

二百グラム)八匹の釣果であつ

た。普通は二百グラムもあれ

ば良型のアラカブだが、なぜ

かこの日は大型ばかり。

早速家に帰り、準備した鯛

をとりはらわたを始末し、冷

蔵庫にしまつてから風呂に

入る。いい湯加減で風呂も

揚げる。湯船の中で刺身に、

揚げに、煮付けにと考える。

風呂からあがり調理に取り

掛かる。まず超大型アラカブ

二匹を刺身にしたら、けんは

大

根と胡瓜と人参の三色にし、

沈海官作の黒薩摩の皿に盛り

付け、次に煮付けだの準備

だ。煮付けは汁を自分量

で入れ、大、中アラカブ八

匹を鍋に入れ、菊を添え野菜

にし落し蓋をする。出ま上が

るまでの間に、揚げの準備

だ。超大型アラカブはその

ままでは、二つ切りにし、小麦

粉をまぶし、鍋に入れ、ジュウ

とい音がする。大型の皿に

サラダ葉を添え盛りつける。

後は味噌汁だけだ。丁度準備

が済んだ頃に、且君、Y君、弟

が家に来た。さあ、夏の始まり

だ。から揚げには、麦酒が合う

ので、麦酒で乾杯!アツアツ

のから揚げに、レモン汁をか

けは、おぼろ。至福のときだ。

刺身に煮付け、炭焼を片手に

話が弾む。H君(鹿屋市は、い

いところだ。海は近いし、温

泉もあり、魚も豊富で、僕

幸せ。と、時間がたつにつれ

一升瓶の底が見えてくる。Y

君、ついに鯛の入れ食い

だ。全員納得。そうしている

うちに夜は更けていった。



### 新春を迎えて

種子島支部長 久永 早苗



新年明けましておめでと  
うございます。

皆様方におかれましては、  
二〇〇七年の穏やかな新春  
をお迎えのこと存じます。  
早いもので、私も支部長  
を拝任致しまして五年目を  
迎えました。その間、会長を  
始め各支部支部長には、色々  
とご指導・ご鞭撻を頂き、誠  
にありがとうございました。  
心より感謝申し上げます。  
さて、昨年は景気回復が  
報道される中、種子島と屋  
久島に於いては、全くその  
兆しも見えず。地方交付税  
や補助金のカットで、国・県・  
市・町発注の公共工事が激  
減し、予算的にも圧縮され、  
しかも頼みの民間工事に至っ  
ても同じような状況で、業  
界にとっては非常に厳しい  
事態が続きました。

市町村合併についても、  
何度か具体的な動きがあっ  
て、協議も重ねられたので  
すが、結局一例も合意に達  
していません。まさに手  
探り状態で、暗中模索という  
状況の中ですが、地元で生  
業を営む会員とすれば、個々  
の特色を生かし、工夫をし  
ながら、そして将来に希望  
を持ちながら、必死に頑張  
らざるを得ない。そんな状  
態です。残念ながら、この状  
態では支部の会員増強を図  
れるはずもなく、本部のご  
厚意で屋久島の会員さんを  
二社、種子島支部にお招き  
している状態です。

も、ただ手をこまねいてい  
た訳ではなく、理事の方々  
で熊毛支部をはじめ各市町  
の役所、各種団体等を訪ね、  
建築協会としての要望書を  
提出し、お断りを致してお  
ります。各校所でも、まち創  
りとか高齢者配慮「ターニ  
」ターニの誘致、等企画  
検討がなされているようで  
すが、結局「やはお金が…」  
という言葉を締めくくられ  
ると、我々も妙に「納得せざ  
るを得ない」という感じ  
でした。  
今年も、亥の年、「猪突  
猛進」  
しかし目標に向かって走  
りたくても目標が見えない  
現実。ただ、目標は創るもの。  
そのためには建築協会とし  
ては、お断りし待たただけ  
ではなく、業界の専門家とし  
て企画・会議等にも積極的  
に参画し、知恵を出し、意見  
を述べ、真剣に現実をにら  
みながら、地域の活性化建  
築の活性化に貢献したいと  
存じます。  
小泉政権から安倍政権に  
変わり、良きにしても、悪し  
きにしても、これまでとは違っ  
た流れが出てくるでしょう。  
その流れを素早く慎重に見  
極め、なんとか明るい光が  
この過疎の難島にも注がれ  
ることを願ひ、地域に貢献  
できる建築協会を目指し、  
研鑽していく所存でござい  
ます。  
今後とも、本部支部各会  
員の皆様のご協力とご理解  
を賜りますようお願いし、お  
断り申し上げます。  
清々しい新年の始めにあ  
たり、会員の皆様のご健勝  
とご多幸を祈念申し上げます。  
そして、新年の挨拶と致しま  
す。

### 年男のコーナー

二〇〇七 亥年

### 新春を迎えて

鶴親和建設 清島 和男



会員の皆さん新年明け  
ましておめでとござい  
ます。  
私が建設業を始めたのは、  
昭和五二年九月の沖永良  
部台風の翌年昭和五三年  
一月に創業致しました。  
五〇年に一度と言われ  
る超大型台風の襲来により、  
住宅や農作、公共施設等に  
壊滅的な被害を受けました。  
その中でも特に被害が大  
きかった住宅の復興が最  
も大切な課題でした。  
環境的に被害の大きかつ  
た住宅の復興には職人資  
材、機材の不足が調達に  
苦労したのが思い出に残っ  
ています。三〇年経て現在  
では、人材、資材、工法等は  
豊富になりましたが、国・県  
市町村の公共工場の減少  
等により建設業にとって

は新たな厳しい時代にな  
ると思われ、三〇年  
間の苦労と経験を生かし  
社員心を一つにして、頑張っ  
て行きたいと考えており  
ます。  
私はある先輩から何事  
にも誠意をもって当たれ  
という言葉を教わりました。  
此からも何事にも誠意を持  
って当たり施主の満足の出  
来る住まい作りをしたい  
ものだと考えております。  
新年は七十二才の年男  
になりませんが、趣味のゴル  
フもゴルフ歴三〇年にな  
ります。  
此まで大きな病気も無  
く健康で仕事が出来たのは、  
ゴルフが健康に繋がって  
きたと思われ、私共沖  
永良部島にはゴルフ場が  
なく奄美大島や鹿児島で  
のゴルフを楽しむので  
あります。此からも趣味と健康  
維持のため続けて行きた  
いと思っております。

新春に当た平成一九年  
が会員皆さんにとって明  
るい年になります様お祈  
り致します。  
森を守る住まい塾  
（昭和三四年生まれ）  
信  
の音、カニ（ニカニ）と  
矢が打ち込まれる小気味  
よい音が静寂の中を走る。  
スローモーション映画の  
ように木々が揺れ、大音響  
を残し地に響く。あたた  
まは暖声とどよめきに包  
まれる。  
こんな感動体験から始

### 二回目の成人式

協和建設(株) 中村 明人



私は昭和の世代にあた  
る昭和二十二年生まれです。  
戦後のベビーブームで人  
数が多く、なんにしても競  
争が激しい世代です。  
この「団塊の世代」とい  
う言葉は岸野太一氏が創  
り出したそうです。まさに  
当を得た言葉だと思います。  
千支では亥年にあたり、  
ことわざで猪突猛進とい  
う言葉があります。これが  
は何事にもわき目を振ら  
ずまっ直ぐ前を向いて進  
んでいくということ、ま  
さにその様な時代背景を  
進んできた気がします。  
一回目の成人式の頃は、  
東京オリンピックが終り、  
高度成長の最中であり、色々  
な分野が拡大する時期で  
ありました。鹿児島市と各  
山市の合併等も当時行わ  
れました。二回目の成人式  
の頃はJR九州誕生等、行  
政改革の走りがあり、地価  
が高騰し、土地神話が生ま  
れた頃であり何か先が不  
透明感のする時代であり  
ました。  
そして三回目の今回は、  
ITの発達により情報を  
より早く取入れ、活用する  
ことが出来スピードを要  
する時代になっており、市  
町村合併があり、ますます  
経済性・合理性を求め、よ  
りテナビが速くなり効率  
化を呼ぶようになってお  
ります。  
今考えて見ますと、青春  
は若者だけのものではなく、  
その時その時を一生懸命  
に生きるのだと思います。  
団塊の世代も日本経済  
と共に繁栄を謳歌し、今後  
リタイアした後にはどのよ  
うな世帯に成るのか楽し  
みであります。  
先日鹿児島中央駅に行  
きましたと鹿児島から福岡  
まで二時間二十分と書い  
てありました。二分約五十  
九分という計算になるよ  
うです。時は金なりと申し  
ますが、スピード・利便性  
だけでは計り知れないも  
のがたくさんあると思  
います。もつとゆっくりと、  
そして早く確実に進みた  
いものです。

助成事業として開催される。  
この塾は昨年七月より始  
まり、参加者は三回で延べ  
一八〇名を超え、消費者の  
地域材への関心の高さが  
窺える。  
森林率六七％。そのうち  
四〇％が人工林の美しい  
緑の列島である日本。しか

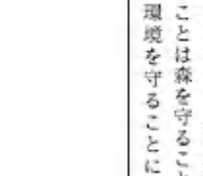
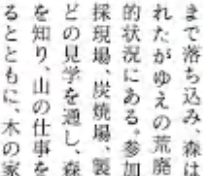
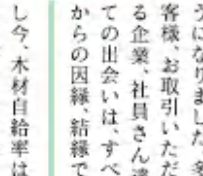
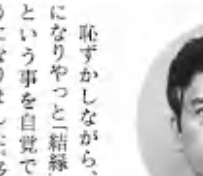
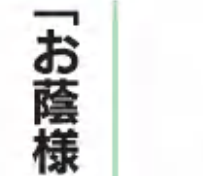
助成事業として開催される。  
この塾は昨年七月より始  
まり、参加者は三回で延べ  
一八〇名を超え、消費者の  
地域材への関心の高さが  
窺える。  
森林率六七％。そのうち  
四〇％が人工林の美しい  
緑の列島である日本。しか

### 昭和十年生まれ

井島 雄一



江藤 正幸

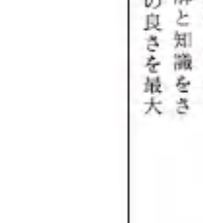
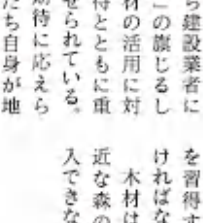
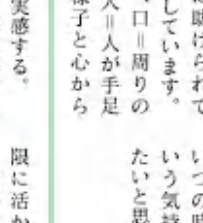
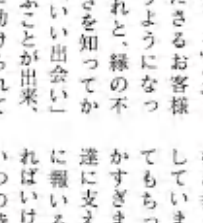
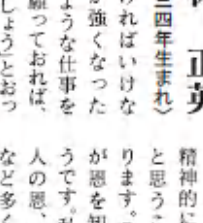
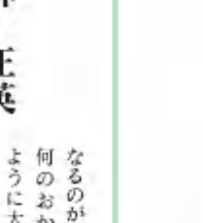
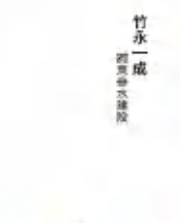


### 昭和三十四年生まれ

林 正英



西 孝一

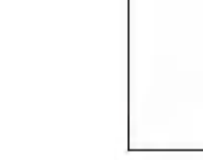
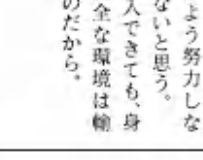
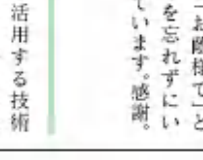
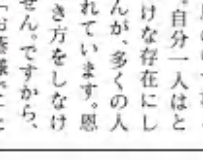
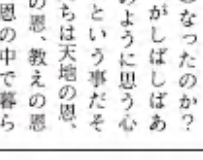
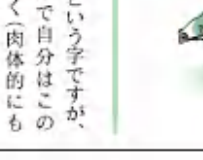


### 昭和四十六年生まれ

田中正一



上原 大志



### 「お蔭様」

豊明建設(株) 林 正英



恥ずかしながら、この歳  
になりやと「結縁や」  
という事を自覚できるよ  
うになりました。多くのお  
客様、お取引いただいた  
企業、社員さん達、すべ  
ての出会いには、すべて先  
世からの因縁、結縁である  
から、  
恥ずかしながら、この歳  
になりやと「結縁や」  
という事を自覚できるよ  
うになりました。多くのお  
客様、お取引いただいた  
企業、社員さん達、すべ  
ての出会いには、すべて先  
世からの因縁、結縁である  
から、  
恥ずかしながら、この歳  
になりやと「結縁や」  
という事を自覚できるよ  
うになりました。多くのお  
客様、お取引いただいた  
企業、社員さん達、すべ  
ての出会いには、すべて先  
世からの因縁、結縁である  
から、







▲鹿児島県・鹿児島市積算担当者  
と建築協会との協議会  
(担当:総務委員会)(10月16日)



▲経営者講習会(担当:総務委員会)  
(10月29日)



▼2006かごしま住まいと建築展  
「模範上棟式・餅まき」(担当:工事委員会)  
(10月28日・29日)



▲平成18年度建築関係技術者研修会  
(鹿児島県土木部主催)  
(担当:工事委員会)(9月1日~)



▲第1回労務委員会による安全パトロール(担当:労務委員会)  
(8月30日)



▲建築四団体協議会(担当:総務委員会)  
(11月9日)



▲年末年始労働災害防止強調期間説明会  
(担当:労務委員会)(11月16日)



▲第1回合同安全パトロール  
(担当:労務委員会)(11月16日)

▼安全大会(07年1月10日)



▲第30回安全大会



▲第1回合同安全パトロール  
(担当:労務委員会)(11月16日)

賞詞交換会(07年1月4日)▶

協会の動き



「建築の日」ボランティア(各支部にて実施)  
(担当:研究開発委員会)(9月16日~)(鹿児島市)▶



▲第二回労務委員会による安全パトロール  
(奄美地区)(担当:労務委員会)(9月7日~)



▲建築協会と建築専門業団体との協議会  
(担当:研究開発委員会)(10月11日)



▲第42回ゴルフ大会(担当:総務委員会)  
(10月12日)



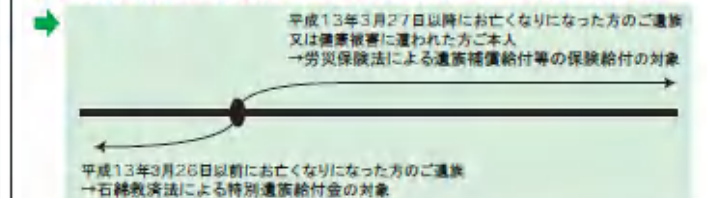
11月11日 奄美支部

「建築の日」ボランティア  
平成十二年度より実施されている「建築の日」ボランティアは、本年度で七回目をむかえました。昨年九月十六日を皮切りに各支部で実施され、公園や河川・道路の清掃・団地内の芝生剪定等、地域に密着した活動を行いました。

石綿関連業務に従事したため疾病に罹患された方及びこれが原因で死亡された方のご遺族の皆様へ

現在、鹿児島労働局では、石綿関連業務のため、健康被害に遇われた方やお亡くなりになった方のご遺族の方が早期に必要な給付が受けられるよう取り組んでいます。

☆ご請求の際、条件に応じ以下の2種類のいずれかをご請求いただけます。



以下のことから、お心当たりのある方は、速やかに鹿児島労働局又は最寄の労働基準監督署に、ご相談ください。

- ①特別遺族給付金及び労災保険法の遺族補償給付等の請求が認められる期間には制限があります。
②特別遺族給付金にかかる年金は、制度上、請求を受けた翌月分から支給されますので、請求が遅くなるほど支給総額が減少します。
③時間が経つと鑑定に必要な医学的資料の入手が困難になります。

安全祈願祭 第三十回安全大会
一月十日、鹿児島県護国神社で労務委員会の事業の一つである安全祈願祭及び第三十回安全大会が開催され、約百名が参加しました。

- 安全衛生管理優良賞
1. 竹山・政・平良特定建設工事共同企業体
2. 新生・吉崎・千原特定建設工事共同企業体
3. 鹿児島県建設協会
4. 鹿児島県建設協会
5. 鹿児島県建設協会
6. 鹿児島県建設協会
7. 鹿児島県建設協会
8. 鹿児島県建設協会

大会宣言
労働災害の防止は、事業者の自覚と勤く者一人一人の自覚と実践が必要であり、毎日の仕事の中で安全の基本を着実に施行し、地道に努力することが重要である。



# 新年のご挨拶

鹿見島建築協会青年部会 部長 吉満 祐市



新年あけましておめでとうございませう。日頃より私共の活動に深いご理解とご協力をいただき大変ありがとうございます。おかげさまで、青年部会の活動も日々充実してきていると考えております。

昨年は総務委員会が「定時総会」の運営と「2000誌」の発行・ホームページ掲載並びに会員手帳の発行・インターネット掲載、会員研修委員会が「経営者講習」で建設業におけるトラブルあれこれと

て松下弁護士の話、活動委員会が「体験実習」で建築業が知っておかなければならないバリアフリーとして高齢者・身障者の疑似体験を行って

又、IT化推進室では南九州内での建設・建築協会のIT化を推進して

また、今年には、青年部会の創立十周年記念の行事と後半の各委員事業も計画しております。

さて、昨年は業界的に驚くべき事件が多発した一年でありました。大変

画並びに予算(案)の件を無事審議通過することが出来ました。有難うござい

さて話しは変わりますが、昨年青年部会創立十周年を迎えることが出来ました。

この一年は、青年部会が「協会だより」の原簿を刷新してまいりました。また、会員手帳も建築協会内のグループウェアであります。インターネットに掲載をいたしました。役員、住所、携帯番号などが古いままであった為、新しい情報の記載により、会員間同士で今まで以上に活用して頂き、アクセスアップに繋がればいいなと思っております。

昨年四月末に開催しました定時総会におきましては、前年事業報告並びに決算承認及び平成十八年度事業計

月一回の定例会を行っていますが、なかなか出席者が少ないのが実情であります。今年も声をかけを行い、出席者が少しでも増え委員会が活性化するようにがんばりたいと思っておりますのでご協力の程よろしくお願い致します。

森田 達朗 新年あけましておめでとうございます。昨年は、温かい御指導と御懇情を賜り誠にありがとうございます。

本年も何卒よろしくお願ひ致します。旧年中は、会員研修委員会、技術講習会の青年部会創立十周年記念を兼ねた研修旅

の大切さを改めて感じました。なんと今年度内にも言うことで委員会の会員と理事との協力を得て二月頃に計画しております。

この場を借りて会員の皆様多数のご参加をお願い致します。

十九年度は、早めの事業計画と会員の皆様の問題とされている点、関心を持っています。参加を促されるような事業を計画していきたいと思っております。

協会内メールや掲示板を使う事により情報の共有ができ、協会会員のメリットとなります。

本格導入より九ヶ月経ちましたが七割以上のアクセス率ができています。

今後の活動としましては、会員の皆様のITスキルアップを目的として、協会の

## 青年部会 新年のご挨拶



総務委員長 南洋和 新年あけましておめでとうございます。昨年は総務委員会の事業として定時総会の運営、青年部発行の「2000誌」、親会発行による「協会だより」の原簿を刷新してまいりました。

また、会員手帳も建築協会内のグループウェアであります。インターネットに掲載をいたしました。

役員、住所、携帯番号などが古いままであった為、新しい情報の記載により、会員間同士で今まで以上に活用して頂き、アクセスアップに繋がればいいなと思っております。

昨年四月末に開催しました定時総会におきましては、前年事業報告並びに決算承認及び平成十八年度事業計

画並びに予算(案)の件を無事審議通過することが出来ました。有難うござい

さて話しは変わりますが、昨年青年部会創立十周年を迎えることが出来ました。

この一年は、青年部会が「協会だより」の原簿を刷新してまいりました。また、会員手帳も建築協会内のグループウェアであります。

インターネットに掲載をいたしました。役員、住所、携帯番号などが古いままであった為、新しい情報の記載により、会員間同士で今まで以上に活用して頂き、アクセスアップに繋がればいいなと思っております。



活動委員長 村岡 博文 新年あけましておめでとうございます。活動委員会の活動状況は九月八日(身障者・高齢者等の疑似体験)を兼ねた講習センターにて実施いたしました。

参加者は二十名と少なかつたですが車椅子体験、高齢者の疑似体験、モデル展示場の見学等を行いました。

また、もう一つの事業として「小学生・中学生を対象とした工作教室のための準備事業」

技能祭りへの参加(活動委員会) 小学生または中学生を対象とした工作教室のための準備事業

IT化推進室の活動報告として、平成十八年度よりFAXの電子化を行いました。

また、もう一つの事業として「小学生・中学生を対象とした工作教室のための準備事業」



技能祭りへの参加(活動委員会) 小学生または中学生を対象とした工作教室のための準備事業

IT化推進室の活動報告として、平成十八年度よりFAXの電子化を行いました。

また、もう一つの事業として「小学生・中学生を対象とした工作教室のための準備事業」

技能祭りへの参加(活動委員会) 小学生または中学生を対象とした工作教室のための準備事業

IT化推進室の活動報告として、平成十八年度よりFAXの電子化を行いました。

また、もう一つの事業として「小学生・中学生を対象とした工作教室のための準備事業」

## 第二回人材確保検討委員会を開催

平成十八年九月二十二日(金) 三三三〇〇

二月月初に結果を報告分析 問題点、改善点の提案が社

問題点、改善点の提案が社 会保険労務士より提出され

問題点、改善点の提案が社 会保険労務士より提出され

問題点、改善点の提案が社 会保険労務士より提出され

問題点、改善点の提案が社 会保険労務士より提出され

問題点、改善点の提案が社 会保険労務士より提出され

問題点、改善点の提案が社 会保険労務士より提出され

問題点、改善点の提案が社 会保険労務士より提出され

## 青年部会会員募集

青年部会では会員を募集しています。詳細については、建築協会事務局までお問い合わせ下さい。



経営者講習会(会員研修委員会)



経営者講習会(会員研修委員会)